

第 2 期

(令和 5 年 10 月～令和 7 年 3 月)

堺市北区政策会議のまとめ

令和 7 年 3 月

目次

1 会議の背景	1
(1) 北区みんなのまちビジョンに掲げる北区の将来像「いろんな『たのしい』でつながる街・北区」	
(2) 北区みんなのまちビジョンの基本方針	
▶ 基本方針 1：みんなでつくる安全・安心の街	
▶ 基本方針 2：みんなで関わる子育ての街	
▶ 基本方針 3：みんなで魅力をつくる・発信する街	
2 会議のテーマ	2
3 テーマごとの会議の内容	3
(1) みんなで魅力をつくる・発信する街	
(2) みんなで関わる子育ての街	
(3) みんなでつくる安全・安心の街	
(4) 「たのしい」でつながる街・北区の実現に向けた区民活動の活性化	
(5) 次期ビジョン策定に向けたアンケート調査	
4 会議の総括	15
5 今後の取組の方向性	15
参考資料	16

堺市北区政策会議構成員名簿

1 会議の背景

(1) 北区みんなのまちビジョンに掲げる北区の将来像「いろんな『たのしい』でつながる街・北区」

「たのしい」をきっかけに新たな区民活動が生まれ、「たのしい」で区民活動がゆるやかにつながり持続性・発展性のあるものとなり、主体的に地域に関わっていただく区民の皆さんの輪が大きく広がることにより区民協働での地域共創を進めます。

(2) 北区みんなのまちビジョンの基本方針

基本方針 1：みんなでつくる安全・安心の街

近い将来発生が危惧される南海トラフ巨大地震や近年の異常気象による台風や集中豪雨などに対応できるよう、街全体で防災力を高めることが求められます。防災リテラシーを高め、自助、共助、公助の観点を踏まえて災害に強い地域の実現に取り組みます。

また、北区まちづくりアンケート（令和元年）では、「北区内で課題に感じていること」として「防犯に関する取組の充実」や「防災に関する取組の充実」が上位になっており、安全安心に関わる取組の充実が求められています。地域防犯力を高め、犯罪のない都市環境の実現に取り組みます。

基本方針 2：みんなで関わる子育ての街

出生数や子育て世代にあたる生産年齢人口が7区で最も多く、妊娠出産から乳幼児期、学齢期、青少年期に至る切れめのない支援がより一層求められます。

地域との関わりの中で子どもが様々な体験を通して心身ともに健やかに育つ環境や、子育て中の保護者の不安を解消し、安心して子育てができ、子育てに喜びを感じることができる環境を創出できるよう取り組みます。そして、子育て世帯を地域全体で支える仕組みを作ります。

基本方針 3：みんなで魅力をつくる・発信する街

都市の持続的発展のためには、多くの人が住み続けることが不可欠です。「住みたくなる街、ずっと永く住み続けたい街」をめざすため、北区の魅力を発掘・創出し、広く発信し、地域愛を醸成することが必要です。

「住みやすさ」「緑の多さ」「交通の便のよさ」など評価が高い住環境の魅力や「月見祭」などの伝統行事、「いたすけ古墳」などの歴史文化資源など北区の魅力を区民自らが再確認し、地域アイデンティティを醸成できる場や機会の提供に取り組みます。

また、様々な分野で活動する地域活動団体の活動を活性化し、区民みんなが活動に参加できるような支援を行います。

2 会議のテーマ

将来像「いろんな『たのしい』でつながる街・北区」の実現に向け、「北区みんなのまちビジョン」の基本方針に係る施策や戦略、次期ビジョン策定に向けたアンケート調査について意見を聴取しました。

(1) みんなで魅力をつくる・発信する街（基本方針 3）

- 第 1 回 令和 5 年 11 月 9 日（木）
 - ・魅力発掘・発信・創出を更に推進できるように
 - ・魅力情報を展開するさまざまな手法
 - ・民間連携の取組

(2) みんなで関わる子育ての街（基本方針 2）

- 第 2 回 令和 6 年 6 月 13 日（木）
 - ・こどもの生きる力を育むプログラム
 - ・子育ての孤立を防ぐ地域とのつながりの醸成

(3) みんなでつくる安全・安心の街（基本方針 1）

- 第 2 回 令和 6 年 6 月 13 日（木）
 - ・無関心層の防災意識を高める取組

(4) 「たのしい」でつながる街・北区の実現に向けた区民活動の活性化

- 第 3 回 令和 6 年 11 月 13 日（水）
 - ・将来像のコンセプト
 - ・実現のために必要なこと
 - ・3 つの戦略
 - ・3 つの戦略で考える現状の取組の報告
 - ・新たな取組

(5) 次期ビジョン策定に向けたアンケート調査

- 第 2 回 令和 6 年 6 月 13 日（木）
 - ・アンケート調査手法
 - ・設問の内容
- 第 4 回 令和 7 年 3 月 21 日（金）
 - ・次期ビジョン策定に向けた基本的な方向性
 - ・今後重要となる視点

3 テーマごとの会議の内容

(1) みんなで魅力をつくる・発信する街

魅力発掘・発信・創出を更に推進できるように、魅力情報を展開するさまざまな手法や民間連携の取組など「みんなで魅力をつくる・発信する街」に関して意見を聴取しました。

【これまでの取組とその評価】

■ 北区役所公式Instagramで北区の魅力情報を発信



＜主な意見＞

- ・魅力発信の取組は、活気がある印象を受け、安心・安全につながり、ひいては移住にもつながる。
- ・住民同士が、間接的にコミュニケーションを取ることができる。
- ・継続的に取り組むことが大事。
- ・スタンプラリーや散歩ルートの紹介など、実際に訪れてもらうことが更なる地域愛の醸成につながる。
- ・フォロワー数が顕著に伸びていることは評価すべき。特に良いのが、参加型になっていることだと思う。
- ・お店の紹介に、駐車場の有無などの情報もあれば良い。
- ・北区役所で行う写真展にInstagramの投稿写真を展示し、逆に写真展の応募作品を区役所からInstagramに投稿するなど、リアルな場とSNSとの間を取り持つ取組をしてはどうか。
- ・若者のフォロワー獲得には、若者に人気のある飲食店や大学付近の飲食店の発信を促すのが効果的。
- ・フォロワー画面を見せると人気店の割引が受けられるような企画は実施できないか。

■ 地域で活躍する方を北区の魅力として広報紙「北区部」で紹介



＜主な意見＞

- ・広報紙などの紙媒体はじっくり見ることができ、デジタルが苦手な方でもアクセスできる点が良い。
- ・発信媒体ごとの特性を活かしてうまく使い分けるべき。

■北区の魅力スポットを紹介する冊子「ふらっと北区」を制作



<主な意見>

- ・デザインが良く、紹介された場所に行きたいと感じる魅力的な冊子になっている。
- ・紹介している古墳や神社、店舗などをめぐるウォーキングイベントを実施してはどうか。
- ・大泉緑地のような大きな公園だけでなく、小さな公園の情報も取り上げるべき。
- ・色々な機関と連携をとり設置場所を増やすべき。
- ・避難場所などの防災情報を盛り込むのも良い。

■北区の魅力動画を制作し、YouTube 公開・各所のデジタルサイネージで放映・駅でポスター展示



<主な意見>

- ・駅でのポスター展示は、立ち止まって見る人が少ないので、大型店舗などへも展開するべき。
- ・SNS などデジタルを活用したのも大事だが、紙の媒体も大切に、効果のある場所を選んで配置するべき。



北区役所



そよ新金岡



イオンモール堺北花田



大阪メトロなかもず駅



大阪メトロ新金岡駅

■フォトコンテストで北区の魅力写真投稿を促進

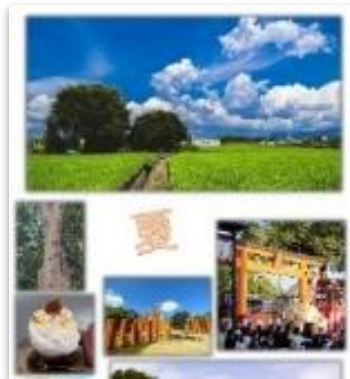


<主な意見>

- ・北区の農風景など、素晴らしい景色を伝えることができる取組。
- ・テーマを北区で縛らず、全国どこからでも投稿できるようなテーマにすることも、市外へ北区の魅力を広げるきっかけになるのではないかな。
- ・回を重ねるごとに参加者が増えているのが素晴らしい、ぜひ3回目も実施してほしい。

【これからの展望】

■ホームページ上にフォトアルバムを展開



<主な意見>

- ・北区で地域活動を行う人などが使えるよう、写真のダウンロードもできるようにするべき。

■ふとん太鼓の魅力を伝える動画を公開

■フォロワーの多い地元企業・大学からの発信



<主な意見>

- ・企業等の協力を得るには、構成員の力も借りるべき。
- ・自治連合会に頼ることも効果的。

各町提供の迫力シーン満載！

9町と一緒に制作！ふとん太鼓の魅力動画



各町の紹介



太鼓台のこだわり



携わる人にインタビュー



ふとん太鼓の歴史

月見祭が
100倍面白く！?

秋の風物詩「百舌鳥八幡宮月見祭」で多くの人々を魅了する勇壮華麗なふとん太鼓の魅力に迫りました。北区役所YouTubeチャンネル(QRコード)で動画を公開しています。ぜひご覧ください。また、お知り合いにもシェアしてください。北区の魅力をみんなで広げましょう！



ここに
注目！

- ・9町それぞれの特色を紹介！
- ・ふとん太鼓の楽しみ方を深掘り！
- ・携わる人にインタビュー！
- ・各町が撮影した映像による臨場感！

■InstagramのQRコードポップ・ステッカーを北区の飲食店などへ展開



(2) みんなで関わる子育ての街

北区がより子育てしやすい区域となるように、こどもの生きる力を育むプログラムや子育ての孤立を防ぐ地域とのつながりの醸成など「みんなで関わる子育ての街」に関して意見を聴取しました。

【これまでの取組とその評価】

■夏休みに子ども食堂 3ヶ所で「わくわく教室」を実施

わくわく教室

＜主な意見＞

- ・内容が充実しており、素晴らしい取り組み。
- ・北区には 20 箇所の子ども食堂があるので、受入れ枠をもう少し拡充できないか。
- ・期間を 3 日から 1 日に短縮し、受入れ側の負担を軽減することで、拡充が見込めるのではないか。
- ・ボランティアの大学生にとっても貴重な機会なので、経験を学びに変える事後のフォローをしてはどうか。



■子育てのつながり構築を地域 SNS ピアッツア上で実施



＜主な意見＞

- ・粗大ごみのページでピアッツアの譲り合い機能を PR すべき。
- ・北区役所アカウントの有用性をもっと PR すべき。

■パパ同士の交流会「ジブン進化 88(パパ)号」と、そこでの意見から誕生したパパ向け子育て冊子



＜主な意見＞

- ・母親ばかりだろうと敬遠されてしまうことを防ぐためにも、父親向けと発信することは意味がある。
- ・育児意識が比較的高い方向けなので、育児意識があまりない人に向けた講習会もあれば良い。

【これからの展望】

■先輩ママ・パパの経験を伝える「子育ての悩み Q&A BOOK」をPR



■子育て中の方の生の声を募集し、広報紙やホームページ、ピアッザで「みんなの子育て体験談」として発信



■その他

＜主な意見＞

- ・未就学児等の居場所は多くあるが、小学生以上のこどもの居場所が少ないように感じる。
- ・子育てひろばに小学生を連れていけないので、上の子が小学生の世帯などは行き場所がない。
- ・昔と今で育児の常識が変わってきているので祖父母に向けた育児講習会などもよい。
- ・冊子でのPRだけでなく、五感で体験できる機会も大切。
- ・子育てサークルの世話役の担い手不足が課題、担い手の募集について広報を行うべき。

(3) みんなでつくる安全・安心の街

若年層ほど防災への取組が進んでいない傾向を踏まえ、無関心層の防災意識を高める取組など「みんなでつくる安全・安心の街」に関して意見を聴取しました。

【これまでの取組とその評価】

■ 防災コンテンツを集めた「北区みんなで防災ホームページ」を開設



＜主な意見＞

- ・キーワード検索など、目的の情報にすぐたどり着けるような工夫がほしい。
- ・充実した内容を見てもらうための取組が重要。例えば区役所エントランスで防災展を行うなどはどうか。
- ・スマホなどで情報を取りに行く若い世代にアピールするには、興味のある情報に関連付けることが必要。
- ・コンテンツを他のイベント等でもうまく活用するべき。

■ YouTube 動画「キャンプで学ぶ防災の知恵」公開



＜主な意見＞

- ・静止画よりも、動画は見やすくて良い。

■ SNS を活用した「わが家の防災アイデア」コンテストの開催



＜主な意見＞

- ・投稿を活性化させるには、景品などでインセンティブを設けることや参加のハードルを下げるのが有効だと思う。

【これからの展望】

■「みんなで防災」ホームページの QR コードポップやステッカーなどを街中の様々な場所で掲示



<主な意見>

- ・具体的な被害想定など自分事に捉えてもらえるメッセージと一緒に掲示すれば、見た人に伝わりやすいのではないか。
- ・防災用品と一緒に置くことで、防災を意識してもらう絶好の機会になる。

■その他

<主な意見>

- ・教育の場で防災をもっと取り上げ、防災意識をこどもから広げるのが良いのではないかな。
- ・楽しいイベントなどに防災要素を盛り込むのが効果的。
- ・学生ボランティアによる防災ブースを、地域のお祭りや北区交流まつりでも出展してもらうのはどうか。
- ・避難所の運営など実際の現場で動けるような知識を持ったリーダーを育成することが重要。
- ・アイラップを使った調理企画など、防災を体験できる企画を実施してはどうか。
- ・防災の意識は時間経過で薄れるので、継続して様々なイベントの中に防災要素を盛り込むことが重要。

(4) 「たのしい」でつながる街・北区の実現に向けた区民活動の活性化

「区民活動の活性化（これまで行ってきたイベント等の活動）」に関して意見を聴取しました。

【これまでの取組とその評価】

■参加者を募集する区民活動団体の一覧をホームページに掲載



＜主な意見＞

- ・活動されている方は高齢の方が多く印象なので、ホームページよりも公民館に掲示の方が効果的ではないか。
- ・区民活動を紹介するインスタグラムなどの SNS があっても良い。
- ・写真があることで、具体的な活動をイメージ出来て良い。

■ 区民がつながるイベント等を様々な関係者と一緒に企画・実施



防災講座



北区子育てフェスタ



北区交流まつり

<主な意見>

- ・高齢の方も SNS を使えるよう、研修会などを行ってはどうか。
- ・各事業を単発のものとするのではなく、それぞれの事業を関連付けてできることがあるのではないか。
- ・防災イベントの中で子育て要素を、子育てイベントの中で防災要素を入れ込むなど、各要素を絡められると良い。

【これからの展望】

■区民参加型の健康啓発「はっぴーすまいるプロジェクト」



はみがきうさぎが堺市北区おうえんたいしに就任



はみがきカレンダーを配布



区民から募集した健康の絵を広報紙等で紹介・区役所エントランスに展示



区民と一緒にダンス動画を制作



北区子育てフェスタに出演しダンスを披露



災害時のお口のケアを PR

<主な意見>

- ・北区おうえんたいしのはみがきうさぎは、イベントでも活用すべき。
- ・はみがきうさぎと防災とを絡めて、非常時のお口のケアについて啓発するのはどうか。
- ・あまり歯医者に行けないようなこどもも取り残さないように、こども食堂などで歯のケアの取組をしてはどうか。

(5) 次期ビジョン策定に向けたアンケート調査

次期ビジョン策定に向けて、アンケート調査を行い「基本的な方向性」や「今後重要となる視点」に関して意見を聴取しました。

基本的な考え方を引き継ぎ
基本的な考え方 みんなが住みたい・住み続けたい北区 (現ビジョン「すべての人が住みたくなる街、ずっと永く住み続けたい街」) ○一部文言を変更。 ○引き続き人口減少・高齢化社会の課題を克服するため、安全・安心で持続的な北区を創生することが求められる。 アンケート結果などから ○人口や出生数は、市内で5年前と変わらず最も多いが、社会動態推移の直近10年減少数総計はマイナス1656人となっている。 ○北区内に住み続けたくない理由(問5)では、「新しいところで住みたいから」が1位(33.6%)となっており、社会減少を食い止めるために、北区に住み続けたいと思う方を増やすことが求められる。

将来像を引き継ぎ
めざすべきまちの将来像 「『たのしい』でつながる北区」 (現ビジョン「いろんな『たのしい』でつながる街・北区」 ～「たのしい」が出会い、つながり、「たのしい」で続く街～) ○一部文言を変更。 ○北区の特性(7区で最多の人口・現役世代人口・出生数、転入者が多い、豊かな歴史文化資源、居住満足度が高い)を活かした、共感を得やすく行動につながりやすい前向きで明るい将来像を引き続き掲げる。 アンケート結果から ○北区がめざす将来像の認知率(問1)は、「知っている」「見た・聞いたことがある」と答えた割合が22.2%にとどまっており、継続して周知することが求められる。 ○住民同士のかかわりあい状況(問22の8項目)は、5年前調査時と比べて全て減少しており、無理のない「ゆるやかなつながり」がより重要である。

<主な意見>

- ・基本的な考え方や将来像が簡潔になるのは、分かりやすく良いと感じた。

戦略を実効性の高いものへ

戦略（将来像への道筋）

- 戦略A 「たのしい」ことを新しく始める（行動のきっかけを作る）
 戦略B 「たのしい」が横に広がり縦に掘り下げる視点を持つ（つながる機会を作る）
 戦略C 「たのしい」で協同の意識を醸成する（つながりを継続させる仲間を作る）

考 慮

情報発信・収集（区民が取り組みやすく、区役所に求められている）

アンケート結果から

- 北区の魅力向上・課題解決に対して、区役所が力を入れてすべきこと(問10)の1位は「情報の発信」(38.5%)、区民ができること(問11)の1位は「区役所などからの情報に関心を持つ」(56.3%)となっている。
- 地域活動に参加したくなる条件（問13）では、「興味関心のある活動があれば」(39.8%)、「雰囲気、居心地がよければ」(29.6%)、「地域活動の曜日や時間が参加しやすいければ」(21.1%)となっており、さまざまな活動をよく知ってもらうことで、参加者が増加する可能性がある。
- 北区の情報を伝達・発信したくなる条件（問16）では、「魅力を感じるスポットを知ったら」(38.5%)、「魅力を感じる地域活動を知ったら」(28.1%)が上位となっており、情報を知ったら伝達したい方が一定数おり、魅力情報の的確な発信が情報の拡散につながる。

基本方針を引き継ぎつつ効果的な内容に

現行の基本方針は引き継ぎ

- 基本方針1 みんなでつくる安全・安心の街
 基本方針2 みんなで関わる子育ての街
 基本方針3 みんなで魅力をつくる・発信する街

アンケート結果などから

- 優先改善課題として居住満足度の評価が平均以下より低く、かつ居住課題と感じていることが平均以上で抽出したところ、「防犯に関する取組の充実」、「防災に関する取組の充実」が上位。

- 目標達成状況（達成率50%）

基本方針	指標	令和元年度	令和6年度	目標値 (令和7年度まで)	達成状況
安全 安心	「防犯に関する取組の充実」に不満を感じている区民の割合	16.4%	13.1%	10%未満	未達成
	「防災に関する取組の充実」に不満を感じている区民の割合	13.5%	6.9%	10%未満	達成
子育 て	「子育て支援に関する取組の充実」に満足している区民（未就学児あり）の割合	50.8%	47.4%	56%	未達成
	「子育てがしやすいまち」と思う区民の割合	52.1%	57.8%※	57%	達成
魅 力	「魅力や愛着を感じるまち」と思う区民の割合	61.3%	74.3%※	67%	達成
	「地域活動に参加している」区民の割合	21.9%	23%	30%	未達成

※は市民意識調査令和5年度時の値

<主な意見>

- ・「安全・安心」が基本方針にあるが、戦略や将来像に表れていないので、戦略や将来像にも「安全・安心」に関する文言を入れるべきではないか。

今後重要となる視点を加味

今後重要となる視点 ～これまでの会議のご意見を踏まえて～

- 関心を持たせる機会を作るため、興味の高いイベント・事業への関連付け
- 多様な主体の連携 ○web上だけでない多様な媒体での情報発信
- 高齢化への対応、社会参加の促進 ○フレイル、介護予防、認知症対策

アンケート結果などから

- 参加したい地域活動（問14）では、「健康づくりに関する活動」(30.4%)、「スポーツ、レクリエーションに関する活動」(22.2%)が上位。
- 地域活動に参加したくなる条件(問13)では、「興味関心のある活動があれば」(39.8%)が上位となっている。
- 興味がある区役所からの発信情報(問18)では、「魅力スポット」(33.9%)、「防災」(33.8%)が上位。次いで、「イベント・講習」(32%)、「防犯」(29.4%)となっている。
- 市の将来推計では、高齢化率が2027年ごろから徐々に上昇、要支援・要介護認定者数が2030年にピークに達すると見込まれている。

<主な意見>

- ・公園の美化や安全性にはぜひ力を入れてほしい。
- ・企業、NPO 法人、いろんな地域団体、ボランティア団体との連携を密にすれば、予算がなくても少なくとも、いろんな事業の幅が広がるのではないかな。区役所だけでなく構成員も含めて、多様な連携が重要。
- ・交通ルール・マナーの啓発や向上などにも力を入れて取り組むべきではないかな。
- ・広報紙などは QR コードではなく紙面上で見られるようにするなど、アナログとあわせて適切に使い分けることが重要。
- ・デジタル全盛の時代だからこそ、フェイストゥフェイスのつながりが一段と大事になってきている。
- ・自治会など地域活動の縮小が課題だと感じる。防災や自治会への参加を促すには、ハードルをとにかく下げることが大切。
- ・地域による防災の取組が今後も重要になってくる。
- ・既に情報をまとめたもの（冊子、HP など）があるので、あるものをいろんな媒体で繰り返して発信することが大事。
- ・田畑の景観を守っていくことも、地域活性化において必要な視点。
- ・北区で地道にいろんなことに関わっておられる皆さんが、一生懸命こういふふうを考えて集まって意見交換ができる場があることが素晴らしい。
- ・興味のある地域活動では、スポーツが上位だったので、外部のスポーツ団体等と連携できると良い。
- ・高齢層のみならず若年層もそれぞれに対応した健康増進、スポーツ・レクリエーションということがもしかしら欠けていたのではないかな。その辺りも考慮をしていただいて、次のビジョンを検討いただきたい。
- ・中百舌鳥や新金岡の開発においては、市民の声を聞いて取り入れ、魅力ある地域にしていってほしい。

4 会議の総括

地域の公益的活動への従事者や公募構成員、大学生、子育て中の保護者、学識経験者など 10 歳代から 80 歳代までの幅広い年齢層の構成員から、それぞれの視点で意見を聴取することができました。

主に北区みんなのまちづくりビジョンの 3 つの基本方針に沿って意見をいただき、多様な意見をもとに「いろんな『たのしい』でつながる街・北区」の実現に向け、施策の検討や改善を行いました。

また、次期ビジョンに関して、北区民意調査アンケート結果を参考に、今後重要となる視点などの意見をいただき、次期ビジョンの方向性について議論を進めました。

5 今後の取組の方向性

令和 7 年 4 月から令和 9 年 3 月までの第 3 期においては、第 2 期で聴取した様々な意見を踏まえた北区みんなのまちづくりビジョンの具現化に引き続き努め、また、実施後の振り返りを行い、区民のニーズに沿った更なる効果的な取組へと発展させます。

また、「北区みんなのまちづくりビジョン」の計画期間（令和 3 年度から令和 7 年度）終了を視野に入れ、令和 8 年 3 月の次期ビジョン策定に向けて社会情勢やアンケート調査結果の推移などの分析を進め、まずはおおまかな枠組みである骨子案の作成を行います。

【参考資料】

堺市北区政策会議構成員名簿

◎座長 ○座長代理

氏 名	団体・役職等
○ 天野 隆次	堺市北区自治連合協議会 会長
魚谷 守信	NPO 法人堺なんや衆 監事
◎ 加我 宏之	大阪公立大学 農学部 緑地環境科学科 教授
坂江 祥衣	公募構成員
清水 苗穂子	阪南大学 国際観光学部 国際観光学科 教授
長尾 永子	家事代行・ベビーシッターサービス スマートスマイル代表 子ども食堂つなぐば代表
中田 萌々果	大阪公立大学 ボランティア・市民活動センター 学生スタッフ
野田 誠子	公募構成員
羽根 恵子	北花田庭園都市・グランアヴェニュー 防災会 副会長
坊農 豊彦	一般財団法人 関西情報センター 新事業開発グループ 主任研究員
吉村 登志子	社会福祉法人 金岡会 幼保連携型認定こども園 わんぱく保育園 園長

(50 音順)